

第62回岡山県総合バスケットボール選手権大会 兼第43回中国総合バスケットボール選手権大会岡山県予選会

女子決勝

日 時	2016年10月23日(日) 14:10～												
会場名	岡山理科大学加計記念体育館									(D)コート			
環太平洋大学 55 $\left\{ \begin{array}{l} 19 \text{ --- } 16 \\ 12 \text{ --- } 14 \\ 13 \text{ --- } 19 \\ 11 \text{ --- } 7 \end{array} \right\}$ 56 就実高校													
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
筒井 悠月	4	14		5	4	2	塩見 あずさ	4	17	1	4	6	4
山崎 瑛奈	5	18	2	3	6	2	田村 幸子	5	6		2	2	2
笹山 千佳	6	6		2	2	3	米田 遥菜	6	0				
須川 奈保子	7	7		3	1	1	青木 翔菜琳	7	18		9		4
宮川 瞳	8	7	1	2		3	岡田 七海	8					
平田 桃子	9	3	1				池下 侑	9					
永瀬 涼花	10						青木 南々華	10					
松田 葵和子	11						那須 愛加	11	9		4	1	3
西本 沙季	12					2	森 夕佳	12	6		3		4
山口 亜花莉	13						平尾 美玖	13					
下條 真奈	14						吉長 夏生	14					
吉田 桃奈	15						平井 日奈子	15					
堀田 結衣歩	16						岩谷 樹	16					
中西 永馨	17						小坂 幸羽	17					2
木場 千尋	18						井上 玲菜	18					
福田 眞子	19												
合 計		55	12	30	13	13	合 計		56	3	44	9	19

戦 評

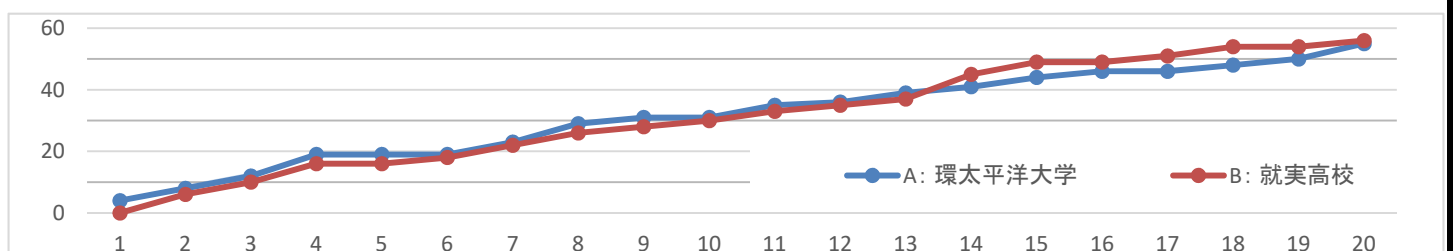
決勝は学連②の環太平洋大学(IPU)と高校①の就実との対戦となった。

1Q 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。IPU5がフリースローを2本決め先制する。その後IPU4、8の得点で優位に立つ。残り7分就実7のジャンプシュートで得点して落ち着きを取り戻し、続けて12がインサイドで得点し譲らない。その後、IPU8、6、7らがミドルシュートを決める一方で、就実7、11らが得点を重ね互角に渡り合う。残り3分、就実4がバスケットカウントを含め3本のフリースローを決めるが、残り2分、IPU5が3Pを決める。その後は両チームとも得点できずIPU19-16就実で1Q終了。

2Q 就実が7のゴール下の得点で開始。続けて就実11がスティールしたボールをそのまま得点し、逆転に成功。対するIPUも5のインサイドや4のミドルシュートによる得点で一進一退の展開となる。その後IPUは9の3P、さらに5のミドルシュートなどで残り3分31-26と差を広げる。対する就実も徐々に取れるようになったリバウンドを速攻につなげ、5や7が確実にシュートを決めて追い上げ、IPU31-30就実で前半終了。

3Q 後半も両チームマンツーマンディフェンス。開始早々就実が4の3Pで逆転。一方IPUも5のミドルシュート、2本のフリースローで再逆転。就実7はゴール下の4にボールを集めて得点し、残り7分で同点となる。就実7はチームファウルによるフリースローをIPUに決められてしまうが、オフェンスは速い展開から積極的にドライブを仕掛け、得たフリースローを5、4が確実に決め、さらに12の得点でリードを広げようとする。残り1分でゲームを引っ張っていたIPU5が負傷交代する。その後就実12、IPU4がそれぞれ得点し、IPU44-49就実で3Q終了。

4Q IPU6のミドルシュートで3点差となる。その後IPUはゴール下までは攻め込むが最後の決め手に欠き、また、就実もターンオーバーを繰り返す。3分間お互いに得点できず膠着状態となる。残り6分、就実7がシュートミスのカバーでようやく得点し、ゲームが動き出す。直後IPUは4のフリースロー2本で追い上げるが、就実も11がバスケットカウントを決め、IPU48-54就実と6点差となった残り3分でIPUのタイムアウト。その後IPU4がジャンプシュート、1本のフリースローで3点差と追い上げるが、残り1分、就実も7が落ち着いてチャンスをものにし、IPU51-56就実となり、就実がリード。終了間際、激しいルーズボールの奪い合いの中から残り8秒、IPU8が3Pバスケットカウントの4点プレーで1点差まで追い上げ場内を沸かせたが、そのまま就実が逃げ切り、13年ぶり19回目の優勝を飾った。



第62回岡山県総合バスケットボール選手権大会 兼第43回中国総合バスケットボール選手権大会岡山県予選会

男子決勝

日 時	2016年10月23日(日) 15:30～	
会場名	岡山理科大学加計記念体育館	(C)コート

ファイサズ岡山 57	}	77 ナカシマ
14 — 21 12 — 19 22 — 17 9 — 20		

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
佐藤 朋信	1	7		2	3	2	阿部 祐也	0					
中西 祥一郎	6	5	1	1		3	中島 直幸	1					
奥山 瑛介	7	0				1	横山 龍	2	10	2	1	2	1
粟井 洋充	8						佐宮 光徳	3	2		1		
田上 靖浩	9	7		3	1	3	山口 時生	6					1
中垣 俊平	10						ソシエルノアティ	9	2		1		3
三村 健夫	11						山野 俊介	14	22	1	7	5	4
木村 晋輔	13	13	1	3	4	4	杉本 智広	15	4		2		2
谷口 巨将	14	3	1				岡田 陸人	18	15	1	3	6	4
石原 健一郎	18	5	1	1		3	小橋 一正	21					
高橋 宏典	22						伊藤 実希	31	12	1	3	3	4
大嶋 将之	26						松本 克也	41	10		4	2	1
芳上 卓	31						竹林 克也	51					
藤高 竜一	45	10		4	2	3	赤木 雅道	91					
辻本 雅敏	91	7		3	1	2							
合 計		57	12	34	11	21	合 計		77	15	44	18	20

戦 評

1Q 序盤は両者オフェンスのリズムが掴めない。しかしそれでも白が14のバスケットカウントなどで得点を重ねる一方、青は得点ができず立ち上がりに苦しむ。残り4分、白14が3Pを決め12-2となったところで青はTOを取り修正を図る。青は18の3Pなどで12-7と差を詰めるものの、点差はそれ以上縮まらない。残り2分、白18の3Pが決まり19-9と、再び点差は10点となる。終盤に青は45の連続得点などで差を詰めるものの、21-14と白の7点リードで1Qを終えた。

2Q 序盤は両者得点が進まず、残り7分、23-16で白がTOで先手を打つ。その後白が9のブロックショットで勢いづく、白14のゴール下で得点が動く。一方、青は無得点の厳しい状況が続く。白31が3Pを含む連続得点を決め、残り4分で30-16と点差が開いたところで青はたまたまTOを取る。残り3分、青14の3Pで33-19とようやく得点するものの、直後に白の4連続オフェンスリバウンドから白31のバスケットカウントを決められ、勢いに乗ることができない。残り1分で青13が3Pとミドルシュートの連続得点で詰め寄るが、白も41のパワープレイや18のドライブから得たFTを確実に決め、40-26と差を詰められないまま2Qを終えた。

3Q 青は開始直後から巻き返しを図り、13と91の得点で40-30と10点差に詰め寄る。白は14がバスケットカウントなど連続得点を重ね、残り6分には47-32と再び突き放しにかかる。しかし残り5分、白9が3回目のファウルをしてしまい、同時にチームファウルが早くも4つ目となる。これを機に青はリバウンドから速攻を仕掛け、オフェンスのペースを急激に上げる。残り3分には青9が速攻をバスケットカウントで決め、50-38と追い上げる。白はTOを取るものの、早い展開を続ける青の勢いは止めることができず、残り2分には51-44と青が7点差にまで詰める。白は18のドライブなどで対抗するが、青も45、91の得点で譲らない。3Q終了間際には青14のナイスディフェンスで白18の4つ目のファウルとなるチャージングを誘い、青が一気に勢いづく形で、57-48と得点差を1桁に縮めて3Q終了。

4Q 勢いを増した青はカッティングを多用した動きのあるオフェンスを仕掛ける。しかし肝心のシュートが決まらず、得点に繋げることができない。その間に白は得点を重ね、残り7分で62-48と再び差を広げる。青はTOを取るが、一度失ったリズムはなかなか取り戻せない。残り5:30になり、ようやく青6の3Pでこのピリオド初の得点をした時には、65-51と差は14点に広がっていた。差が縮まらず、残り3分には青がオールコートDFをするが、白は落ち着いてボールを運ぶ。71-55となった残り2分から青はファウルゲームを仕掛けるものの、白はFTを着実に決め、白がゲーム終盤をしっかりとコントロールし、75-55で勝利を取めた。

